

きずな学園



世のため、人のため？



ともに、歩く道 (23)

あなたは何のために福祉をなさっているのですか」とよく尋ねられる。「世のため、人のためです」という答えを期待してのことらしい。その時、私はきまつて「自分のため、わが子のためです」と答えることにしていました。相手は期待を裏切られて一瞬蔑視したような顔つきをされる。そこで、私は「あなたは何のために働いていますか」と問い合わせます。相手はウツと答え窮屈する。よくよく考えてみると、自分も同じように「自分のため、家族のため」にしか働いていないことに気づかれるからである。どんなに言いつくりつても「世のため、人のため」に働いているのではない。何よりの証拠に、待遇が少しでも悪化すると、すぐ止めて別の職場に移ってしまう。それを、「私は自分のことは一切勘定に入れずただ『世のため、人のため』に生きている」と平気で宮沢賢治みたいなことをうそぶく人がいる。自己欺瞞もはなはだしい。そういう言葉を聞くと私は背筋に寒気が走る。偽の文字は人の為と書く。偽善とは、人の為になす善のことである。テールワード仏教（東南アジアに伝わる原始仏教）の「慈悲の瞑想」では、

- 一、私が幸せでありますように
- 二、私の悩み苦しみがなくなりますように
- 三、私の願うことがかなえられますように
- 四、私に悟りの光があらわれますように

とまず最初に臆面もなく「自分の幸せ」を唱えてから、この「私」の箇所に、「私の親しい人」、「親しくも親しくもない人」、「私のきらいな人」、「私をきらつている人」という言葉を入れ換えて唱え、最後に、「すべての衆生が幸せでありますように」と三回繰り返して念ずることになっています。「私を中心にして慈

悲の輪が次第に広がるのである。この「慈悲の瞑想」はそれぞれ基本の四行から成り立っていて、各行は主語が違うだけですべて同じ定型句である。仏教を少しどもかじった経験のある方はすぐ気づかれるよう、これは仏教の最重要徳目である「四無量心（慈・喜・捨）」を表している。

なぜ「私の幸せからか」と、これを猛烈に批判したのが西暦一世紀頃に勃興した大乗仏教の宗教改革である。自分の幸せは後回しにして先に他人の幸せをこそ願うべきではないか、というのである。いわゆる菩薩の利他行である。これが日本人の建前となつた。

世間は誤解しているが、釈迦は「一切衆生を救済するため」に出家したのではない。ただ自分の堪え難い苦悩を解脱するためであった。その結果が二千数百年にわたって「一切衆生を救済する」ことになったのである。釈迦は人間の心の機微に長けていた。自分自身が幸せでなくて、どうして他者に対する本当の慈悲心が発露できようか、と説いたのである。仏教の自利利他行である。

結局、人は誰でも自分のやりたいことしかやらなければなりません。やりたくないことは絶対にやらない。わがままは存在である。だが、そのことは決して非難されるべきことではない。人間はみんなそんなのだから。ただそのことに自覚的に気づいているかどうか、自分でやりたいことをただやり続けることが、結果として意図せず「世のため、人のため」になつているかどうかが問題なのである。

福祉はけつして自己犠牲的に建前でするものではない。私のやりたいことがみんなを幸せにし、みんなの幸せが私のやりたいこととなるような福祉活動のあり方。これが私の目指すところなのである。誤解なさいませんように。

グループホーム「こう」開所

サービス管理責任者 小正 英樹



祝 テープカット



おいしい夕食、いただきま～す。

できました。今後の人生の
幸せとは・・・。
その手段のひとつとして
できた「こう」。多くの想い
がつまつたこの場所が大
切なものになるよう、私た
ち職員も含めみんなで多く
のことを経験しながら日々
過ごしていきたいと思いま
す。

遊びにきてね！



平成から令和となつた二〇一九年五月一日に日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）「こう」が開所しました。同日に開所式をおこない、大勢の皆さんにご参加いただき無事にスタートすることが出来ました。きずなが考える重度高齢化の今後に（終の棲家）なくてはならないという想いから実現しました。法人にとつて初めてのグループホーム。定員一〇名十短期入所一名となつています。

吉野町の住宅街で、就労支援B型事業所きずな塾・喫茶店オアシスと一緒に敷地にある新築2階建てですから付き合いのある近隣の皆様のご理解に感謝しています。建物内は落ちついた雰囲気で、各階のリビングでは自由に集まりお話ししたり、テレビを観たり、音楽を聴いて歌う方もと和気あいあいとしています。ご自分の時間を大事にされる時は、一人部屋でゆっくりと好きなことを出来る環境を整えています。

きずなが法人化して二十五年。利用者様も高齢になられ

吉田葬祭芋掘り

支援員 松山 真紀

十月十六日、ぽかぽかとした秋空の下、吉田葬祭様のお招きで、「お芋掘り」行って参りました。

「大きい!」「どれた!」

土に埋もれているお芋を見つけると、利用者様の喜びの声があちらこ



新任紹介

支援員
久永 文代

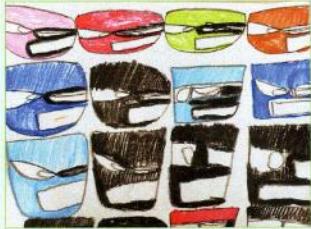
皆様こんにちは。まずは初めまして。私は久永文代と申します。令和元年五月十日に、「きずな」に入職致しました。現在は作業場の方で日中楽しくお仕事をさせて頂いております。以前は二十年ほど高齢者の方達の支援に従事して参りました。きずな学園では先生方にお世話をになりながら日々学びの時間を過ごさせて頂き、大変有り難い事と感じております。

今後とも多方面でのご指導、ご鞭撻賜ります様、よろしくお願ひ申し上げます。

ところで、初めに申し上げました私の名前ですが、文代と書いて「やすよ」と読みます。文の字に「和」と「穩やか」の意味があるとの事、名前に負けない様努めたい所ですが、何分にも至らない点が多く、お手数をお掛けする事もあるかと存じます。

それでもこれまで学んできた知識や培ってきたスキルなどを生かし、一心精進して参りたいと思つております。

吉田葬祭さま、いつもありがとうございます。吉田葬祭様、ありがとうございます。きずなでは、ふかし芋にしていただきました!



きずなの仲間の作品紹介



吉田葬祭さま、いつもありがとうございます。



おいしいお茶も いただきました。

たくさんのお茶とお菓子を戴き、心もお腹も満たされた。きずなのために毎年甘くて美味しいお芋を育てて下さい。朝から蔓の除去等、心より感謝です。吉田葬祭様、ありがとうございます。きずなでは、ふかし芋にしていただきました!

ジェントルティーチング 第二十一回公開ワークショップ

支援員 岩切 勇樹

令和元年十月二十二日・二十三日の二日間にわたって、大阪府の富田林市にある、すばるホールにて、ジェントルティーチング第二十一回公開ワークショップに参加させていただきました。

講演の中で「生の文化に向かう創造性」という講義がありました。そこで創造性を豊かにすること、複数の視点がもて、柔軟に視点の切り替えができる。その創造性が豊かさが利用者支援にとても大事だということを知ることができました。

きずなでは、「花ひらく」という題名で、ある利用者さんのケース発表をさせていただきました。内容は、令和元年五月に『グループホームこう』ができ、そちらに入居される事になった利用者さんの変化についてでした。『グループホームこう』での生活を送る中で、とても表情もよく、いい変化がたくさんできました。

ジェントルティーチングの中に、『安心・安全』という言葉があります。『安心・安全』というのは、利用者支援にとって当たり前のことですが、言葉に

するのは簡単ですが、行動にうつして利用者さんに『安心・安全』と感じていただく事は、とても難しい事だと思っています。

今後も利用者支援において、ジェントルティーチングの考えを忘れず、『安心・安全』と思われる人になりたいと思います。

第八回全国手をつなぐ育成会 権利擁護セミナー(in八戸)

支援員 田中 亜里香

令和元年九月三十日に青森の八戸市総合福祉会館にて、第八回全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナーが開催されました。

今回のテーマは、「かしこくつかおう一年金と成年後見」というテーマにそ

れました。講師の方々から障害年金を貰うときのポイントや成年後見利用促進法のポイントについての講演がおこなわれました。年金についての講演では、障害年金をもらうときに必要な医師の診断書は、地域によってはガイドラインの目安を知らない医者も多く、また、医者の数が足りずに診断書を書いてもらえない地域もありその方にあつた年金を充分に貰えていないという問題点

をお話してくださいました。成年後見については、一番印象に残ったのは、知的障害をもつお母様の心情についての講演です。そのかたは、最初の頃、成年後見制度は、まだ先の事とおもつていたそうです。しかし、少しずつ年もとり成年後見制度のことを考え始めたそうです。多くのご家族のかたは、誰しも自分の子供は、自分で育てたいと思われています。成年後見制度は、大切な我が子を人に託すことです。なので、親にとつてはとつても大事な決断だと改めて感じました。

今回の研修で、知的障害のある方が、親亡き後も困ることがないようないろいろな制度があることを学ばせていただきました。今回の学んだことを活かし利用者のかただけではなくご家族のかたにも寄り添い皆が幸せになるような支援を心がけていけるように努めています。

研修に参加させて頂きました。

第六回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会熊本大会

支援員 増田 奈津子

令和元年十一月二十三日・二十四日の二日間、熊本城ホールにて、第六回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会が行われました。

初日は五つの分野について分科会が

開催され、わたしはそのうち、「地域育成会の活性化」に関する分科会に参加させていただきました。そこで、特に印象的だったのは、開催地、熊本県の震災の経験を生かした発表です。障がい者とその家族が被災時、どのような状況に置かれ、そして支援者として何が出来るか、様々な気付きや実践が発表されました。

今回の震災では、まず避難自体が決して容易でなく、そして、避難先での心身共に落ち着く環境が、他よりも得にくいという声が数多く報告されました。そこで、役立つたのが地域の育成会や特別支援学校など、専門的な知識を有した団体です。自宅や施設、避難途中の車内など、様々な場所にいる家族と連絡を取り合い、必要な物資やより良い避難環境の提供など、県や市にも働きかけ、尽力されたそうです。

また、地域の方とのつながりも重要で、普段から交流があり理解のある近所の方が援助してくださる事例もありました。備蓄や家具の固定などの備えも大切ですが、家族を取り囲む人的資源の重要性が明らかになりました。

そして、その根源には相手への深い理解や思いやりがあります。わたしもそのような支えの一端になれるよう、日々の関わりの中で、利用者様の気持ちや、利用者様にとって大切なことをもっと知りたいと思いました。今回は、このような素晴らしい研修に参加させていただき、ありがとうございました。



納涼船



き
ぎ
な
の
な
が
ま
げ
ん
き
い
つ
ぱ
い
!



運動会

野球
観戦

なし狩り
大きいのが取れました。



サンライフプール
気持ちがいいね！



クリスマスコンサート



そうめん流し



ナイスハートスポーツ大会



平成30年度 事業報告

1. 総括

平成最後の年、平成30年度も無事、恙なく終わることができました。心より感謝申し上げます。当法人の平成の30年間を振り返れば、平成5年に法人の認可、平成6年に通所更生施設「きずな学園」の開設、平成12年に入所更生施設「セカンドハウスきずな野」の開所がなされました。

このような状況のもと、国の制度改革により平成15年に措置費制度から支援費制度に移行したことによって、福祉サービス利用に関する制度と意識のコペルニクス的転換が行われ、加えて平成18年の総合支援法施行に伴う事業体系の改変、市場原理の導入と、本当に目まぐるしく色々なことが変化し続けた年月であったと感じます。平成の時代が、障害のあるなしに関わらず、一人ひとりが地域社会でその人らしく生き活きと暮らす「インクルーシブ社会」の構築を目指してきたことは、平成26年の障害者権利条約の批准を経て、障害のある人々にとって、人生の選択を広げ、幸福の尺度を豊かなものに変えることでもあったように思います。平成の30年間の当法人の歩みも、また、ご利用者様やご

家族様、そして職員にとって、豊かな人生を保障するものであったと自負しております。

ご本人の老化及びご家族の高齢化の対応が喫緊の課題であるなか、重度・高齢化対応のグループホームである、日中サービス支援型共同生活援助事業が平成30年4月に施行され、それを受け、鹿児島市の指導を仰ぎながら、「デイセンターゆう」を廃止し、12月に「グループホームこう」の5月1日開所を目指して設置申請書を提出いたしました。また、さらにきずな塾の充実を図るために、多機能型事業所とし、同じく5月1日開所を目指して生活介護事業を行なうこととしました。

これまでの当法人の歴史を真摯に踏まえ、これから時代に、さらに高い理念ときめ細やかな心配りで、ご本人を中心とした「穏やかな日常」「当たり前の生活」を継続することに努めて参りました。「今、ここ」に生きている命に感謝し、また「きずな」を支えてくださる多くの方々に感謝しながら、新しい年号が令和となったのを機に、改めて「きずな」に求められるものに応えていけるようこれからも努力を続けます。

2. 異動（平成30年3月31日現在）

きずな学園	職員/新規採用	なし	児童デイサービスきずな	職員/新規採用	0	退職	1	本部	職員/新規採用	なし
セカンドハウスきずな野	職員/新規採用	1	デイセンターゆう	職員/新規採用	0	退職	3			

3. 利用者の状況 年齢別状況（平成31年3月31日現在）

きずな学園						セカンドハウスきずな野					
性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計	性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
男性	0	2	7	1	10	セカンドハウス女性	0	0	4	4	8
女性	0	1	7	2	10	女性	0	0	8	4	12
合計	0	3	14	3	20	合計	0	0	12	8	20

平均37歳（男性35.2歳、女性38.9歳）

デイセンターゆう						セカンドハウスきずな野					
性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計	性別	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	計
男性	1	1	3	4	9	セカンドハウス女性	0	0	0	2	2
女性	0	0	3	8	11	女性	0	1	0	1	2
合計	1	1	6	12	20	合計	0	1	0	3	4

平均41.8歳（男性40.8歳、女性44.3歳）

平均42.1歳（男性42.5歳、女性41.7歳）

きずな学園 登録状況 校種別状況	小学校					中学校					高等学校					計					
	性別	武岡台養護	後ヶ丘養護	鹿大竹特待	鹿児島養護	春木野養護	特別支援	性別	武岡台養護	後ヶ丘養護	鹿大竹特待	鹿児島養護	春木野養護	特別支援							
	男性	5	6	9	20	女性	3	0	0	3	性別	武岡台養護	後ヶ丘養護	鹿大竹特待	鹿児島養護	春木野養護	特別支援				
	合計	8	6	9	23	性別	13	3	0	4	0	0	0	20	計						
性別	武岡台養護	後ヶ丘養護	鹿大竹特待	鹿児島養護	春木野養護	特別支援	性別	武岡台養護	後ヶ丘養護	鹿大竹特待	鹿児島養護	春木野養護	特別支援	性別	13	5	0	5	0	0	23

平均47.7歳（男性64.0歳、女性31.5歳）

4. 日中活動報告

- ・極真空手、週一回、学園・きずな野・ゆう、各施設毎に活動している。
- ・ハビリテーション（健康維持・増進活動）：PT（理学療法士）指導による運動、園庭や学園近辺での歩行運動、ボール遊び等リジュベ
- ・音楽療法：ミュージックセラピスト（音楽療法士）による活動、吉野町ワンボーンでのカラオケプロドラム奏者による「リズム・ハート」（月2回、打楽器を中心としたセラピー）ダンス専門講師による、リズム体操
- ・社会参加活動：ドライブ、配達、イベント参加、外食等
- ・芸術・文化活動：絵画療法、陶芸他
- ・仕事体験活動：さとり、手芸品製作、園芸、木工製作、紙すき、ウエス作業、タオル作業、その他

5. 年間行事報告

- 4月 第一期始業式・辞令交付・サークル観覧（5月）・施設親善球技大会
 - 5月 ゴールデンウィークイベント・耳鼻科検診・監事監査
 - 6月 運動会・理事会・大明小交流会・市職員親善球技大会・評議員会・クラフト大会
 - 7月 お祇園さあ観覧
 - 8月 納涼船・サンライフプール・第一期終業式・第二期始業式・夏期野外キャンプ・山形屋作品展示、即売会
 - 9月 健康診断・ふれあいスポーツ大会・理事会
 - 10月 在宅スポーツ大会・パイロットウォーク・評議員会・吉田葬祭芋ほり
 - 11月 ゾウさんはな通り・相談支援センターあこ実施指導・わくわく福祉フェスタ・台湾旅行・インフルエンザ予防接種・県福祉大会
 - 12月 クリスマスパーティー・グループホームこう上棟式・きずなクリスマス会・第二期終業式
 - 1月 第三期始業式
 - 2月 おでかけイベント（3月）
 - 3月 学生さんとのボウリング大会・グラウンドゴルフ大会・法人家族会・理事会・職員健康診断・お花見・第三期終業式
- *毎月実施 職員会議 運営会議 ケース会議 職員研修 体重・体脂肪・血圧測定 リズムハート ファミリーマートバザー スポーツクラブ
- *毎週実施 音楽 踊り(野) 水曜日レクリエーション(学生さん/月1回) リハビリ 火・木曜日カラオケ 金曜日水泳(ふれあいセンター) リズム体操 リジュベ

6. 交流

武岡台養護学校、鹿児島高等特別支援学校、吉野中学校、吉野東中学校、吉野東小学校 吉田南中学校、国際大学、志学館大学、純心女子大学、純心女子短期大学、パイロットクラブ、清水地区民生委員、中洲地区民生委員、名山地区民生委員、玉里地区民生委員、西本願寺上町地区婦人会等の各種ボランティア団体、大勢の方々と実りの多い交流ができました。他に、国際大クラフト大会、国際大学園祭、吉野兵六ゆめまつり、吉田町福祉まつり、おはら祭り、わくわくフェスティバル等に参加

7. 計画相談支援・障害児相談支援事業

平成28年2月に開所した相談支援センターあこでは、相談者（児）が有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況及び置かれている環境等に応じて、適切な福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立の立場から相談・計画作成事業に取組んでいます。

ソフトバンクホークスを応援してきました!!

支援員 伊達 早奈恵

七月二十五日(木)～二十六日(金)の一泊二日、百二十二名で福岡旅行に行つてきました。今回の旅行のメインイベントといえば！『鷹の祭典』!! 福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズの試合を観戦してきました。

ラッキー7だ!! がんばれ~!!

一日目、熊本にて昼食を食べいざ！福岡へ!! 野球観戦へ心を躍らせヤフオクドームに向かいました。バスの中では、歌を歌つたり：皆様わくわくが止まらないご様子。グッズを買つたりおみやげを見たりと楽しんだら、もうらつたユニフォームに袖を通し球場へ。ホークスファンの多さに圧倒されながらもメガフロンや帽子、風船などたくさんのがっつを手に応援してきました。残念ながら試合は負けて



グリーンランド

しまいましたが普段なかなか感じることのできない熱気を感じることができました。二日目には福岡を出発しグリーンランドへ!! お買い物にアトラクションにとめいっぱい遊んで帰ってきました。楽しいことが盛りだくさんの福岡旅行たくさんの方の笑顔と胸いっぱいの思い出を作ることが出来ました。



お土産も買つたヨ!!



編集後記 連日の報道でうんざりですが、私たちの法人もコロナウイルスの影響で多くの催し物が中止または延期になりました。楽しみにしていた利用者の皆さんはじめ、遊び好き？の職員も鬱屈とした日々が続いています。ですが健康は第一。今は黙々と手洗い、マスク着用を励行し、解放される日を待つこととしましょう。（西郡）